

連結流動性カバレッジ比率に関する事項

本邦では平成27年3月末より、バーゼルⅢの流動性規制である「流動性カバレッジ比率(以下、「LCR(Liquidity Coverage Ratio)」という)」が導入されております。当行は国際統一基準を適用のうえ、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその経営の健全性を判断するための基準として定める流動性に係る健全性を判断するための基準」(平成26年金融庁告示第60号。以下、「流動性カバレッジ比率告示」という)に定められた算式に則り、当行連結ベースについて算出しております。

■連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

1.時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

当行連結における平成29年度第1四半期および第2四半期のLCRは、次頁の「連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載の通り、平成27年3月末の規制適用以降、大きく変動することなく安定的に推移しております。

2.連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

LCRの最低水準は、平成29年は80.0%に設定されており、以後段階的に10.0%ずつ引き上げられ、平成31年以降は100.0%となる旨が流動性カバレッジ比率告示に定められております(下表ご参照)。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年以降
LCRの最低水準	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%

当行連結のLCRは、平成29年の最低水準である80.0%および平成31年以降の最低水準である100.0%をそれぞれ上回っており、特段の問題はないものと考えております。なお、今後のLCRの見通しが開示された比率と大きく乖離することは想定しておりません。また、LCRの実績値は当初の見通しと大きく異なっておりません。

3.算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

当行連結の算入可能適格流動資産には、中央銀行への預け金、高格付の債券、現金等が含まれており、次頁の「連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載の通り、純資金流出額を上回る額を保有しております。なお、算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動はありません。また、主要な通貨(通貨建て負債合計額が当行の負債合計額の5.0%以上を占める通貨)において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間に着しい通貨のミスマッチはありません。

4.その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

当行連結のLCRは、流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」および同告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用しておりません。また、同告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、「小規模連結子法人に係る資金流出額」等を計上しております。

■連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目	平成29年度第1四半期	平成29年度第2四半期
適格流動資産(1)		
1 適格流動資産の合計額	56,282,542	57,090,548
資金流出額(2)		
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	51,207,249	52,045,475
3 うち、安定預金の額	16,367,499	16,815,341
4 うち、準安定預金の額	34,839,751	35,230,134
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	61,719,453	61,351,850
6 うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—
7 うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	55,991,296	55,828,060
8 うち、負債性有価証券の額	5,728,157	5,523,790
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	98,273	181,767
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	21,456,642	20,801,134
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	1,471,501	1,401,964
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	513,003	476,852
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	19,472,138	18,922,317
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	5,804,053	5,381,928
15 偶発事象に係る資金流出額	63,531,080	64,834,342
16 資金流出合計額	47,908,302	47,635,115
資金流入額(3)		
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	1,677,057	1,913,048
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	3,865,922	4,103,733
19 その他資金流入額	2,338,278	2,400,274
20 資金流入合計額	7,881,257	8,417,055
連結流動性カバレッジ比率(4)		
21 算入可能適格流動資産の合計額	56,282,542	57,090,548
22 純資金流出額	43,769,067	43,356,126
23 連結流動性カバレッジ比率	128.5%	131.6%
24 平均値計算用データ数	62件	62件

(注)1.平成27年3月末の規制適用以降のデータは、三井住友フィナンシャルグループのホームページに掲載しております。

(http://www.smfg.co.jp/investor/financial/basel_3.html)

2.平成27年金融庁告示第7号に基づき、日次データによる平均値を算出しております。

なお、取引先の属性情報や連結子会社等の一部データについては、月次または四半期次データを使用しております。

■適格流動資産の内訳

(単位：百万円)

項目	平成29年度第1四半期	平成29年度第2四半期
1 現金預け金	47,752,643	49,205,220
2 有価証券	8,529,899	7,885,328
3 うち、国債等	6,642,196	5,653,840
4 うち、地方債等	109,639	120,282
5 うち、その他債券	317,186	602,083
6 うち、株式	1,460,879	1,509,122
7 適格流動資産の合計額	56,282,542	57,090,548

(注)上記金額は、バーゼルⅢの流動性規制における適格流動資産の金額であり、財務上の金額と一致するものではありません。

なお、バーゼルⅢの流動性規制における算入可能率を乗じた後の金額を記載しております。